男子８１ｋｇ級

準決勝戦第１試合

３谷口　徹○　　背負投　　３渡邊　一貴
(旭化成)　　(自衛隊体育学校)
　左組みの谷口が開始１分６秒の背負投で渡邊を畳みに沈め一本勝。

準決勝戦第２試合

４河添　佑○　　合せ技　　４法兼　真
　(旭化成)　　(綜合警備保障)
　河添左組み、法兼右組みの一戦は、抜きつ抜かれつの好勝負を展開。１分１４秒、法兼が裏投で技ありを奪い、続いて横四方固で抑え込むが、河添は１３秒で逃れて絶体絶命の危機を逃れる。
　法兼リードのまま迎えた２分１９秒に河添が法兼の攻撃を小外掛で切り返して技ありを奪うと、河添はそのまま横四方固で抑え込み、逆転の一本勝を収める。

決勝戦

３谷口　徹⊖　　優勢勝　　４河添
　(旭化成)　　(旭化成)
　左右のケンカ組み手の僚友は、引き手争いから一進一退の激しい攻防。終盤までこの展開が続く。残り５０秒になってようやく試合が動く。河添が場外際で内股を狙い、これを谷口が後ろからすくい投を狙えば、河添は猶も内股を続ける。今度は谷口がこれを潰し、伏せようとする河添の後ろを抱きかかえて裏返しにして、残り４２に技ありを奪う。
　結局、これが決め手となり谷口が僚友対決を制し、二連覇、通算３度目の優勝を飾る。